

7 番（小川義昭君）

その件についても後ほどまた出てきますので、要はやはりこれは新幹線がすぐそこに来るのです。そうすると、後の質問に入りますけれども、観光客が松任に来たらどうするのですか。松任へ来たらどう行くのですか。

次の質問に入ります。

次に、北陸新幹線金沢開業に向けての施策について、3つの項目にわたって質問いたします。

平成 27 年春の北陸新幹線金沢開業が間近に迫っている今、本市においても観光推進部観光課が中心となって、平成 24 年度に白山市観光ビジョン 2012 年から 2016 年を策定したところであります。

このビジョンは、白山ブロードウェイ構想を掲げ、市域の 8 地域の個性を融合させ、オール白山として一丸となって北陸新幹線金沢開業に向けた取り組みを行おうとする内容であります。

また、今年度の 5 月に一般社団法人白山市観光連盟を発足させ、学識経験者で構成する北陸新幹線開業白山ブランド P R 戦略策定委員会が組織されました。先週の 5 日に開催された市議会全員協議会での報告によれば、この委員会は今後、白山ブランドの確立と首都圏への戦略的な P R 方法についての具体的な新幹線開業白山ブランド P R 戦略実行プランを策定推進していくということであります。

白山市と観光連携協定を締結した金沢市では、既に J R 金沢駅に北陸新幹線金沢開業に向けての大きな横断幕を掲げ、関東、上信越などからの交流人口の受け入れ、さらには定住に向けてのハード、ソフト両面でいろいろなおもてなし施策を推し進め、金沢市内には歓迎ムードがあふれようとしています。

確かに金沢市には J R 金沢駅に直接新幹線が停車し、関東、上信越方面などから観光客などが押し寄せ、大きな経済効果が期待できることは確実ですが、金沢市にほぼ隣接すると言っていい私ども白山市もまた、観光客やビジネス客などが金沢市を經由して訪れるおもてなしの環境づくりが急務かと考えます。

そこで、お尋ねいたします。

去る 6 月 15 日、J R 松任駅南広場完成式典がとり行われました。このことにより歴史・文化と活力を感じる庭園都市の顔づくりをテーマに、白山市の新たな玄関口として開発を進めていた J R 松任駅舎及び南側・北側広場の周辺整備がほぼ完成しました。

しかし、石川県内で金沢市に次ぐ人口規模第2位の白山市の顔である玄関口は、北陸新幹線金沢開業を機に大いに飛躍が期待されるステーションとしては甚だインパクトに欠け、物足りなさを感じるのは私だけではないと思います。市長の所見をお伺いいたします。